

Kビジョン放送番組審議会（2021年3月23日）

放送番組審議会（第23期第2回会合）では、『伝統の灯を絶やさない～三味線奏者 門田早苗さん～』と『墨で彩れ！書アーティストの挑戦』を合評しました。

<合評番組>

■**伝統の灯を絶やさない～三味線奏者 門田早苗さん～（20分）**

2020年10月26日(月)～11月1日(日) 放送

山口県内のケーブルテレビ8局が新型コロナウイルスの影響の中でも前向きに活動を続ける人や団体を紹介するシリーズ番組として制作したもの。Kビジョンは放送エリア内の3つの伝統芸能（島田人形浄瑠璃芝居、切山歌舞伎、安田の糸あやつり人形芝居）の活動に携わり、コロナ禍でも伝統を絶やさずに伝えようと活動している三味線奏者・門田早苗さん取材した。

■**墨で彩れ！書アーティストの挑戦（25分）**

2020年11月16日(月)～11月29日(日)放送

全国のケーブルテレビ局が地域の魅力を全国に発信するドキュメンタリーのシリーズ番組「けーぶるにっぽん 彩 JAPAN」のひとつとして制作した。今回のテーマは「色」。Kビジョンでは墨の「黒」にスポットをあて、下松市の書アーティスト・西岡雅宵さんの姿を追いかけてながら書道文化や墨の黒さに秘められた奥深さを描いた。

<合評内容>

■**伝統の灯を絶やさない～三味線奏者 門田早苗さん～**

- ・ 伝統を継承していくことの大切さを感じた。
  - ・ コロナ禍でも前向きに三味線指導に取り組む門田さんの姿に感動した。
  - ・ 番組をきっかけに、県内に多くの伝統芸能があることを知ることができた。
  - ・ コロナ禍でさまざまなことがリモートになっている中で、対面での指導を大切にしている姿勢に共感を覚えた。
  - ・ 番組を通じて「三味線」に興味を持った。門田さんのもとで習ってみたいと感じる視聴者もいたと思う。
  - ・ 三味線の難しさ、指導の苦労等がインタビュー等で出てくれば、その奥深さを伝えることができたのではないかと。
- 等のご意見を頂きました。

### ■墨で彩れ！書アーティストの挑戦

- ・番組を見て「書道」に興味を持った。興味を持つところから伝統の継承につながっていけばいいと思う。
- ・西岡さんを題材にしながらもただの人物紹介になっておらず、番組のテーマである「黒」や「書」が伝わる内容になっていた。
- ・書の歴史や文化、書道の現状や課題にも触れていた点が良かった。
- ・伝統を大切にしながらも新しいことに挑戦していく西岡さんの姿に感動した。
- ・書道パフォーマンスを見せるシーンでBGMが挿入されていたが、現場の音だけで見せても良かったのではないかと思った。
- ・ケーブルテレビだからできる人材発掘をこれからもして行ってほしい。等のご意見を頂きました。

出席者は、徳永豊委員長、なかはらかぜ、西岡雅宵、友田隆、佐野三和子の各委員、社側から杉田昌士代表取締役社長、矢田民也専務取締役、ほか放送制作部員4名でした。